

1-4
amano
note about SR
soon before
death
written in
america

This is a draft of the same
materials written in the following
pages.

寤食を共にしての生活を強めよう
男 8人 教員
女 4人 在籍者

→ 洋七次一 (60人 生徒のみ) 家族は周辺のアパート

5:30 起床 5:50 ~ 6:30 洗濯 6:30 ~ 7:10 洗濯 金事
食事は 8:30 ~ 作務 12:15 ~ 12:30 食事
夕食は 5:30 ~ 6:10 夕食 8:30 ~ 9:10 夕食 9:30 就寝
週に一日(火) 7時 ~ 9時 掃除あり 金事 100人位

夕サハラ 物衣場 溝敷
午後 3 時

叔大教師より大教師に昇格した

11月21日 香山式 1144-1110-1-1 集まる者 350人 出席者 450人
夕サハラより 650人参加

11月21日 5:22日 桑塔寺にて作法 10時 12時 寮内 菩提のたけのこを
焼いたるキノを築き上げ 山崎桑塔寺に遷転 兩宗の人和言に 洋清法と生深指導
に習念 加野分サの出境に 海心寺を南に 修行 運場を作る 外に 12月21日 大菩薩
蓮花の法を 5時 10分 生舞で 初心と終る 洋清法と公報 金事各地に 深道場を
開設 興隆 24時 戒壇を 浮言と 持する とく、この功により 11月21日 叔大教師
と 洋清法と 菩提のたけのこを 築き上げた